

水辺の事故を防ぐために

夏は私たちにとって楽しい時期ですが、水辺の事故に気を付けなければならない時期でもあります。

昨年夏期における、子どもの水辺の事故の主な発生場所の1位は「河川(50%)」、2位は「海(28.6%)」となっており、行為別の事故発生の1位は、「水遊び(50%)」で、次いで「魚とり・釣り(28.6%)」となっています。水辺の事故は毎年1,400件を超え、特に夏休み期間となる7月～8月は多く発生しています。

しかしながら、水辺の活動は、自然環境への興味関心が高まり、五感を強く刺激することによるリフレッシュ効果もあるなど高い教育効果があることも分かっています。

“危険だから”と水辺から遠ざけるのではなく、子どもたち自身が「自分の命は自分で守る」セルフレスキューの意識と技能を身につけ、様々な活動を通じて「生きる力」を伸ばしていくことも大切な経験といえます。



安全に水辺の活動を楽しむために……

- 水辺に遊びに行く前に「天気予報を確認」
- 水辺で遊ぶときは「ライフジャケットを着用」
- 水辺で遊ぶときは「一人で行かずグループで」
- 溺れている人を見つけたら「飛び込まず助けを呼ぶ」
- 水に落ちてしまったら「あわてず、浮いて助けを待つ」



各家庭でルールを決め、安全に水辺の活動を楽しむように心がけてください。

7月1日(水)に開館する南阿蘇村白水B&G海洋センターでは、新型コロナウイルス感染症予防対策を取り組んだうえで、安全に水辺で遊ぶことができるよう、浮き身の練習やライフジャケット体験などを行う「水辺の安全教室」を実施しています。新型コロナウイルス感染症予防対策へのご協力をよろしくお祈いします。また、併せて子どもたち向けにカヌー体験なども計画しておりますので、後日配布する参加申込書をご確認の上ご参加ください!!

〈問い合わせ〉南阿蘇村教育委員会 Tel (67) 1602

南阿蘇村

地域おこし協力隊通信 vol.33

地域おこし協力隊になって半年が経過しました！

主にみなみあそ観光局にて、不慣れながら南阿蘇村の観光を盛り上げる為に日々精進しています。

道の駅あそ望の郷くぎの内に、観光案内所掲示板に4月から掲示している飲食店情報なども多くの人にご覧いただきとても嬉しく感じています。今後も随時更新していきますのでよろしくお願いいたします。

また、動画撮影などもさせていただいています。「東海大学卒業ビデオレター」や、みなみあそ観光局のFacebookで公開している商品紹介動画なども是非ご覧ください！動画撮影のお仕事もお待ちしております！ご興味のある人はぜひご連絡ください！

「みなみあそ観光局」

Tel (67) 2222

Facebook: <https://www.facebook.com/minamiaso.info/>

(地域経営組織推進プロジェクト 大内)

